



《笑顔でチャレンジ!》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第 11 号 (11月号)

令和元年 11 月 25 日発行号

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



ジャンケンに負ると新聞紙がドンドン小さくなります。

11月20日《絆を深めよう集会》

10月30日、柿崎中学校で行われた「ハッピーなかま集会」を受け、当校でも6年生・運営委員会が中心となって「絆を深めよう集会」を行いました。

6年生が劇をしながら「いじめに発展するいじりはしない」と全校児童に分かり易く伝えてくれました。その後、心臓救済ゲームをしながら絆を深めました。

みんなの人気者《きすな君》にもお友達ができました!

新聞紙の上から落ちないようにおんぶ!

《ソーシャルスキルトレーニング》って?

校長 岩下 伸子

《ソーシャルスキルトレーニング》という言葉をご存知ですか? ご存知だと思うのですが、少し紹介します。

《ソーシャルスキルトレーニング》とは、社会で人と人とか関わりながら生きていくために欠かせない技能(スキル)を身に付ける訓練(トレーニング)のことを指します。

つまり、対人場面において、適切に相手に反応するために用いられる言語的・非言語的対人行動を習得する訓練のことです。練習や訓練を通して、人とうまく関わりながら生きていくための言葉や動作を獲得するのです。ですから、《ソーシャルスキル》は、先天的に獲得される能力ではなく、後天的に獲得される技能(スキル)なのです。私たちは生まれてからたくさんの人たちと関わり、たくさんの知識・技能を身に付け、成長していきます。その成長していく過程の中で、私たちは《ソーシャルスキル》を獲得していくのです。たとえば、人と関わる時に行う挨拶や、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶、人に何かをお願いしたり断ったりするときなどのコミュニケーションはもちろんのこと、毎日歯を磨く、脱いだ靴を前える、着替えた服をたたむ、自分の持ち物を整理整頓する、ルールを守るなど、それらが全て《ソーシャルスキル》です。

ほとんどの子どもたちは、親や周りの人の行動を見聞きモデルとして真似したり、「あいさつしなさい」「そんなことを言っちゃいけません」「そんなことはしてはいけません」「出したものは片付けなさい」などと、言葉で教えられたりしながら自然に社会生活に必要な行動を習得していきます。そして、「上手にできたね」などと褒められたりすることにより、人間関係は良好になり、褒められた行いはよい行いとして定着していきます。また、小さな成功体験を積み重ねることで、自己肯定感も育まれていきます。

しかし、そのような経験が少なかったり、発達面にアンバランスさがあったりする子は、それらのスキルの習得に何らかの困難を抱えます。単に、家庭や学校等で社会生活を過ごすだけでは、適切な対人関係を築くことが難しいといわれています。そして、その困難さも子どもたちもつ特性によって様々です。例えば、衝動性が高く感情のコントロールが苦手な子は、わかままで乱暴な子と誤解されたりします。また、人の表情が読み取りにくく、場の雰囲気を読み解きにくい子は風変わりな子・自分勝手な子と想われて友達との人間関係がうまく築けなかったりします。自分の思いを言葉にして相手に伝える経験・体験が乏しい子は、困ったときに自分の思いを伝える術を知りません。そのため、どのように友達と接して良いかわからず、人間関係がうまく築けなかったりします。集団の中に入りにくい子は、人との関りの場をもつことが少なく、スキルの獲得が困難になりやすい傾向があるといわれます。

このように対人関係につまづきを示す子どもたちが、それぞれの発達段階において獲得すべきスキルの習得のためには《ソーシャルスキルトレーニング》が必要となります。この《ソーシャルスキルトレーニング》を行う上で大切なことは、子ども自身が《ソーシャルスキル》を学びたいという意欲をもつことです。自分が何に困っているのか、それを解消するためどのようなスキルが必要であるのかについて認識できていることが重要です。

そして、子どもの得意なことやうまくいった体験などにも焦点をあてて自己理解させることが大切です。そのため私たち大人は、子どもたちに《ソーシャルスキル》が身に付けば、苦手さのために困っていたことが改善されていくことを伝えていくことが重要だといわれています。学校では、学校生活全体の中で、《ソーシャルスキル》を学ぶ活動を工夫しています。10月・11月の生活目標は「温かいメッセージを送り合おう!」でした。ご家庭でも子どもたちに温かいメッセージを送ってあげてください。お互いの良さを褒め合い、メッセージを送り合うと、きっと、ご家庭の中も温かな空気で満たされることでしょう。子どもたちも、「こんなふうに友達と接するのいいんだな」とおうちの方をお手本として学ぶことでしょう。よろしくお願いいたします。

《ソーシャルスキルトレーニング》って？ その2

学校生活の中では、あいさつ運動を取り入れたり、学級で協力し合って係活動を行う場面を設定したり、心班ごとの活動を取り入れて異年齢の子どもたち同士の関わりや思いやりの気持ちを大切にしたり、学習の場面でも互いの意見・考えを尊重し合いながら学びを深めていったり、掃除の仕方や給食の食べ方、廊下の歩き方、学習用具の準備の仕方・片付け方などを学んだり、ケンカをしたら「ごめんね」と謝ったり、消しゴムを借りたら「ありがとうね」と言って丁寧に返したり、友達には「バカ」や「死ね」などと言わないことなどについて考えたり、「いじめ」について考え、いじめをなくすためにはどんな行動をとったら良いのか話し合ったりしています。それら全てが《ソーシャルスキル》であり、《ソーシャルスキルトレーニング》です。

子どもたちは、日々の生活の中で他者の行動を見本として適切な行動を学びます。しかし、現代は、子どもたちの関わる集団(学年間の集団遊び、多世代家族、親戚付き合い、地域社会などが)少なくなり、この学びの機会が減少しているといわれます。また、ゲームやアニメ、ネットの世界など、過激な言葉があらわれている現実もあります。

その結果、人間関係を調整し、適切に対応し、集団をつくるのが苦手な子どもが増えているといわれています。

人間関係が希薄になった現代では、子どもたちだけでなく、大人でも適切な人間関係を築くことが難しく、生きづらさを感じている人が多いといわれています。大人でも上司や部下、家族とうまく会話できなかったり、ご近所トラブルがあったり、人に合わせすぎて疲れたり、社会のルールが守れなかったり、整理整頓が苦手だったり…様々な不適応を呈する人が多いそうです。私も整理整頓が苦手です。うまく対応できないことも多々あります。

皆さんはわかりませんか？ 皆さんのお子さんもわかりませんか？

「大人も子どもも苦手なんだ。一緒に学んでいくことが大切なんだ！」からスタートすると、過ごしやすい世の中になるかもしれませんね。一人一人の不安感が払拭され、自信をもって生活できるようになるかもしれませんね。

《ソーシャルスキルトレーニング》について、各ご家庭でも取り組んでみてはいかがでしょうか？

《ソーシャルスキルトレーニング》は、次の5つの段階を経ながら学んでいくそうです。

- ① 教示・そのスキルがなぜ必要か、説明して教える。
- ② モデリング・手本となる他者(大人や友達などの振舞)を見せて学ばせる。
- ③ リハーサル・スキルを先生や友達を相手に実際に練習してみる。
- ④ フィードバック・行動や反応を振り返り、それが適切であれば褒め、不適切であれば修正の指示を行う。
- ⑤ 一般化・教えたスキルがどのような場面時、人、場所においても発揮できるようにする。

学校には《ソーシャルスキルかるた(東京教育技術研究所発行)》があります。

【学校生活】【学習規律】【挨拶返事】【社会生活】【対人関係】の5つのまとまりにより、ルールやマナーを覚えることができます。一部紹介します。 **※よかったらカキタの貸し出しを行います。担当までご連絡ください。**

- 【学校生活】… 『ぬいだくつ かかとそろえて くつばこへ』『もちものに かならずかこう じふんのなまえ』『つかったら もとのところに もどそうね』『あるこうね ろうか・かいだん みきか物つうこう』『つくえからはなれるときは いすいれる』……など(青い札20枚)
- 【学習規律】… 『あそぶまえ つぎのじかんの ようにして』『わすれもの なぬかかくにん じかんわり』『できるかな いつものしせいは ひんぴたぐー』『しまいを おそれずてをあげ はっぴょうだ』『キンコンカン チャイムかなったらせきにつく』(下黒川にはチャイムはありませんが…)など(桃色札20枚)
- 【挨拶返事】… 『くつはいて でかけるときは いってきます』『あいさつは めとめあわせて きもちピタッ』『げんきよく あさのあいさつ おはようございます』『たのみごと してもらうとき おねがいします』『ぶつかった わざとでなくても ごめんなさい』……など(黄色札20枚)
- 【社会生活】… 『のりもので せきをゆずろう こどうぞ』『きけんだよ とびだしやめて じこになる』『でんしゃ・バス のったらこえを ちいさくね』『つかうばしょ きたときよりも うつくしく』『げんきなこ はやねはやおき あさごはん』……など(緑の札20枚)
- 【対人関係】… 『あそぶとき ルールをまもると たのしいね』『うれしいな げんきになるよ らわらわことば』『ないてるこ こえをかけよう だいじょうぶ』『つたえよう きちんとことばで それやめて』『まげちゃった たまごはあるよ ドンマイだ』……など(橙色札20枚)



《外国語活動・外国語科を中核とした小中一貫教育の推進》

柿崎中学校区では、平成29年度から3年間「外国語活動・外国語科を中核とした小中一貫教育の推進」について上越市教育委員会の研究指定を受け、取り組んできました。新学習指導要領配付ポイントの一つは、「外国語教育の充実」です。小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から全面実施となる外国語教育の充実に向けて、中学校区をあげて、準備を進めてきました。

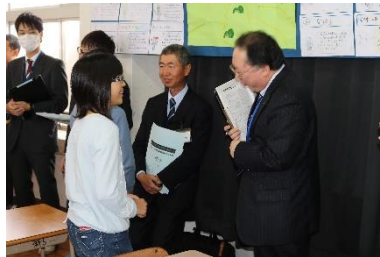
そして、11月6日(水)に、柿崎中学校を会場に、当校6年生と、上下浜小学校4年生、柿崎中学校1年生が外国語活動・外国語科の授業を公開しました。上越市を中心に、糸魚川市、妙高市、柏崎市、遠くは林野模原市からも小中学校教員総勢180人を超える方が、ご参加くださいました。

当校6年生は、外国語科「I like my town. (『We Can! 2』Unit4)」の2時間目を公開しました。

単元の目標

- 自分の町の特色やイベント、そのよさなどについて聞いたり言ったりすることができる。
- 自分の町の特色やイベントについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり例を参考に語彙を意識しながら書いたりすることができる。
- 他者を意識しながら、自分の町の特色やイベントについて伝え合おうとする。

時間	○学習活動【基本フレーズ】
5	<Greeting> ○あいさつをする(参観者の先生方とあいさつをする)。 【 Hello! My name is ~. How are you? I like orange. Do you like orange? What ~ do you like? 】
5	<Warm up> ○ワードリスト(柿崎の行事 自然 食べ物など)をリズムに合わせて唱える。
33	<Let's listen> 【 We have ~ in ~. We can enjoy ~ing. It's ~. 】 ○ピンゴカードに書いた自分が思う柿崎のいい所を確認する。 ○スリーヒントクイズを聞いて、柿崎のどんなことを話しているのか当てる。 Let's enjoy Three hints Quiz. I will give you three hints about Kakizaki. ○地域の方の「柿崎のいいところ紹介」のビデオを視聴し、どんなことを話しているか類推する。 Let's listen to the talk. Who is this? What did you hear? ○Guest teacher の「柿崎のいいところ紹介」を聞き取り、どんなことを話しているか類推する。 My name is ~. I live in Kakizaki. I like my town. ○2人の柿崎のいい所を聞いて、自分が書いたピンゴカードでいくつそろったか確認をする。
2	<Reflection> ○本時の学習を振り返りシートを使って振り返る。



上越教育事務所野池課長はじめ小中学校外国語担当の先生方と英語で挨拶を交わす6年生。堂々とした様子、積極的に英語でやり取りする様子を授業後たくさん褒めていただきました。



リズムに合わせてながら英語で柿崎の行事や建物、自然、食べ物などを練習しました。担任石口教諭の3ヒントクイズを聞きながら「柿崎の何についてのクイズなのかな?」と、真剣に聞き、英語で答えていました。



保護者の小松史さんがビデオで「柿崎のいいところ」を英語で説明してくれました。瀧田典子さんは実際にGuest teacherとして子どもたちに「柿崎のいいところ」を英語でスピーチしてくれました。子どもたちはどんなことを話しているのか考えながら真剣に英語を聞き、その内容を理解していました。



この学習の後、実際に6年生は英語で「柿崎のいいところ」を説明するスピーチを考え、発言していきます。これまで総合の時間たくさん「柿崎のいいところ」を発見してきた6年生。どんなことを発言していくのか、学習の続きが楽しみです。



上下浜小学校4年生の外国語活動 What do you want?...何かいって欲しいのか、そして、それでできるのは何か、担任山崎教諭とALTクリスティーン先生のやり取りを聞きながらクイズに答えます。cheese や cucumbers, hams で What's this? It's a sandwich. 真剣に聞きながらクイズに答えていました。



柿崎中学校1年2組「人を紹介しよう」自分が好きな人・キャラクターなどについて紹介の英文を発表しました。聞き手の友達それぞれについて質問したりコメントしたりします。聞き手はALTクリスティーン先生になり切ってクリスティーン先生ならどんなことを質問するかな?と考える、質問していました。英語でやり取りをする力がついてきています。



教室に入りきらない先生方は廊下から授業の様子を参観していました。公開授業終了後、参加者は体育館でグループになって「これからの外国語教育」について熱く語り合いました。その後、上越教育事務所野池課長様、上越市教委中野指導主事様からご指導を受けました。いよいよ、来年度から小学校では外国語活動・外国語科の授業が全面実施となります。

《ABC週間》② ハッピーハロウィン！集会

「ハッピーハロウィン集会 Trick or treat. お菓子をくれねえといたずらちゃうぞ！」

10月31日(木)、クリスティーン先生(柿崎中)、チャールズ先生(大潟町中)、クリス先生(直江津中)の3人のALTの先生方と共に「ハッピーハロウィン」を行いました。事前に廊下や掲示板的飾りをハロウィンモードにしたり、給食の時間にハロウィンの説明をしたりして、盛り上げながら当日を迎えました。全校児童は、過度にならない程度に思い思いの仮装をしながら参加しました。保護者の皆様からも仮装についてご協力いただきました。ありがとうございます。ALTの先生方の自己紹介を聞き、一緒に歌ったり体を動かしたりした後、心班ごとにジャンボピンクン福笑いを作り、全員でハロウィンビンゴを行いました。ビンゴが完成した子どもたちは、「Trick or treat」と言って、お菓子をもらいました。45分間かあっという間に終了しました。



《ABC週間》② ChallengeTime

「レッツハロウィン」の後、5・6年生は《チャレンジタイム》に挑戦しました。3人のALTの先生と5・6年生が、1対1で、一人4～5分程度、英語でやり取りをしました。挨拶や今日の気分、天気、今日は何月何日何曜日か、誕生日や好きな色・食べ物・教科等を尋ね合う自己紹介を英語で行いました。ドキドキした「チャレンジタイム」でしたが、笑顔あふれていました。回数を重ねる度に、自信もてるようになるようです。堂々とした態度で楽しみながら自分を語ることができていました。

《お知らせ》 ハッピークリスマス！ 13:30～

12月19日(木)にクリスティーン先生(柿崎中)とチャールズ先生(大潟町中)と「ハッピークリスマス」を行います。山崎事務員さんの《クリスマスミニコンサート》もあります。保護者の皆様・地域の皆様もよろしかったらご来校ください。どうぞお楽しみに！

《秋の読書週間》



11月11日(月)～17日(日)まで読書週間でした。学校では挿冊読書や図書放送委員会の子どもたちによる読み聞かせや読書ビンゴ、図書宝くじ、5年生による「心班読み聞かせ」や、心班取組の「みんなで本を読もう」や「おすすめの本の紹介」、職員による読み聞かせ、丸山学校司書先生の図書指導やブックトークなど、盛りだくさんの内容に取り組みました。毎日、図書室が子どもたちでいっぱいでした。

また、保護者の皆様のご協力をいただき、「読書週間カード」にも取り組んでいただきました。《読書の秋》・秋の夜長を親子で読書を楽しみ、ステキな時間を過ごして下さったことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



《小中合同音楽祭》

11月15日(金)、上越文化会館で小中合同音楽祭が行われました。今年度で最後となる音楽祭。大きなステージの上、緊張感いっぱいだった子どもたち。しかし、演奏が始まると、これまでの練習の成果を発揮し、最後となる音楽祭を立派に盛り上げていました。少ない人数の当校5・6年生ですが、金管演奏「RPG」と合唱「大切なもの」を、笑顔で、堂々と、そして楽しみながら表現していました。「今までで一番いい演奏ができた」と子どもたちも満足した面持ちでステージを降りてきました。会場に駆け付けてくださった保護者の皆様や祖父母の皆様からも「感動しました。本当にステキな演奏・歌声でした」と感想をいただきました。1つ1つの行事を終えながら、子どもたちは自信を付け、大きく成長していきます。高倉芳行前校長先生からたくさんのご指導をいただきました。ありがとうございました。子どもたちを応援し、励まして下さった保護者の皆様にも感謝申し上げます。

